

目次	・腎臓内科の診療について	・・・1	・News ～熊本県医学検査学会～	・・・5
	・お知らせ	・・・2	・カルシウムの話	・・・6
	・居宅介護支援事業と病院の連携について	・・・3	・新入職員紹介、編集後記	・・・7
	・部署紹介 ～臨床工学科～	・・・4	・外来診療表	・・・8

腎臓内科の診療について

腎臓内科部長 緒方 智博



我が国では毎年1万人近い方が末期腎不全の為に透析療法を導入され、社会的にも経済的問題になってきています。腎臓は沈黙の臓器と言われ、症状が出にくいために病気の発見が遅れがちで、気がつかない間に悪くなっている事もしばしばです。当院の腎臓内科では、健診にて検尿異常を指摘された若年者から、腎不全を指摘された高齢者まで幅広い層の患者さんが受診され、その現疾患も多岐に渡ります。原発性糸球体腎炎(ネフローゼ症候群を含む)以外にも糖尿病性腎症などの代謝疾患、全身性エリテマトーデス、慢性関節リウマチ、強皮症などの膠原病、高血圧や血管炎などの血管障害、骨髄腫腎などの血液疾患など、多くの疾患が腎臓に関与しています。

また、約10年程前より慢性腎臓病(Chronic Kidney disease ; CKD)という概念が注目されています。CKDとは腎機能が低下した状態や検尿異常の一方または両方が3ヶ月以上続く場合と定義され、現在国内で1千300万人、成人の約8人に1人に疑いがあると言われてます。さらにCKDは、末期腎不全に至るだけでなく、心血管病の危険因子であることも明らかになってきました。しかしながら、CKDも種類によっては進行を抑制する(あるいは完全に進行を止める)ことが可能になってきています。CKDを早期に発見し治療をしていくことが、その後の腎不全発症に重要であると考えられ、これまでに健康診断などで腎臓の異常が持続している方は、一度腎臓内科での診察が望ましいと思われまます。

検尿異常が認められた患者さんには、通常の血液

検査や尿定性検査に加えまして、超音波による腎の形態的評価や尿沈査による円柱等の細胞成分の評価、24時間蓄尿による尿性化学検査等で鑑別診断を行い、必要が認められる方には熊本大学医学部附属病院腎臓内科等の総合病院とも連携して腎生検を行い確定診断致します。これまでの検診や人間ドック等での血清クレアチニン値のデータを持参いただければ、1/Creaのグラフを用いまして今後の透析導入時期等の予測を行う事も可能です。慢性腎臓病の治療には栄養士による栄養指導等も有効ですので、関心のある方はご相談下さい。さらに、当院では末期腎不全に対する血液浄化療法である透析医療にも重点を置いています。現在同時透析は最大48名で、月・水・金曜日は朝・昼・夜間の3クール制、火・木・土曜日は朝1クール制にて運用しております。現在はおおよそ120～130名の患者さんの透析を行っております。更に当院では腹膜透析の外来管理も行っており、出来るだけ個々の患者様のライフスタイルや合併症に合わせた最適な透析が行える様に配慮しております。

今後の展望といたしましては、更に個々の病態に応じて血液透析以外の血液濾過透析や血漿交換、白血球・顆粒球除去療法などの多様な血液浄化法も選択可能になるよう施設や人員の充実を図り、透析医療の一環である内シャント作成や経皮的血管形成術なども菊池市で完結出来るような体制の整備を目指しております。一人でも多くのCKD患者様を早期に発見し、最適な治療を行って参りたいと考えておりますので、今後ともご高配の程宜しくお願いいたします。

菊池郡市医師会立病院が テレビで紹介されました

平成26年7月26日（土）午後1時30分から熊本県民テレビの

「KKT医療ナビ！Dr.テレビたん」にて当院の情報が放送されました。



**ホームページで繰り返し
動画をご覧いただけます!!**



Dr. テレビたんの「スタッフブログ」でも当院の様子が紹介されています！

ホームページもぜひ
ご覧ください。

KKT ドクターテレビたん

検索

<http://www.dr-tvtan.jp/>



菊池郡市医師会 居宅介護支援事業所

病院の連携について



昨今の報道にもあるとおり高齢化が右肩上がりの中で介護保険制度が始まり、介護を社会で支えていこうという目的が介護保険であることは皆様もご承知の事でしょう。その制度の中で居宅介護支援事業所は、在宅で過されている要介護者の方が、少しでも心身機能を回復させ、介護者に過度の負担を掛けずに、自分らしく地域で生活していく事が実現できるように主治医の先生の御意見をいただきながら、各種サービスの案内や調整を行っております。在宅での生活をしっかりと支えていくことを目標に支援させて頂いておりますが、ご高齢や要介護の方になると、持病も多く、時には入院が必要な事が出てきます。そのような場合でも在宅を支えていく居宅介護支援事業所と病院とがしっかりと連携し、利用者様が必要な医療や介護がスムーズに受ける事が大切です。また退院時も同じように病院から在宅へとスムーズな連携が行なえ、不安なく退院できる事が重要です。このことは介護保険制度の中でも各種加算(入院時情報連携加算・退院退所加算)が設定されており、国としても在宅と病院のシームレスな支援が重要と考えている事が伺われます。私たちの事業所でも利用者様やご家族の同意を得て、入院退院の情報の共有を行い、在宅から入院生活や退院後の生活がスムーズに移行できるように支援させて頂いております。

このような支援の更なる充実のため、平成24年11月から毎月1回のペースで、医師会立病院地域連携室を中心に連携会議を開催しております。メンバーは菊池郡市医師会立病院の医師や総看護部長、各病棟の

看護師長やリハビリ部門の管理者、在宅を支える居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション、デイサービスセンターの管理者等で構成され、菊池市における在宅介護の実態や介護ニーズの共有、入院から退院までのスムーズな支援について話し合いを行っております。会議の中ではお互いの立場から率直な意見を出し合う事により、入院時のスクリーニングから連携パスの作成を行ったり、ターミナルの方の支援について連携したりしています。

今後は病院と在宅のシームレスなケアはもちろんのこと、地域で支えあう事が重要になってきます。これは平成26年6月に成立した「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」にも明記されており、医療と介護を地域でどのように推進していくのかを具体的に考えていく内容になっています。今後ますます高齢化が進み、医療ニーズが高い方が在宅に早期に帰ってくることや在宅での看取りも増えていくことが予想され、地域の先生方や訪問看護をはじめ在宅での医療と介護の連携の充実が望まれています。私ども菊池郡市医師会居宅介護支援事業所は、今後も地域の先生方や医師会立病院、地域包括支援センターをはじめ地域の介護サービス事業者の方、地域の役員様と連携し、介護が必要になった方々が安心して菊池に住み続けられるように支援していきたいと考えています。「地域に心配な方がいる。」「トイレやお風呂に手伝いが必要になってきた。」など介護でお困りの時には、いつでもご連絡下さい。



菊池郡市医師会居宅介護支援事業所

TEL 0968-24-1973

部署紹介

臨床工学科

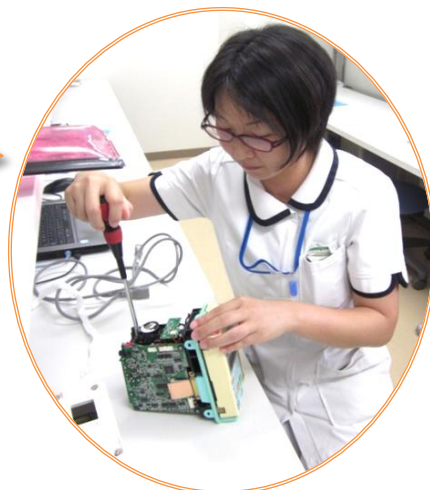


当院の臨床工学科には現在、11名の臨床工学技士が在籍しております。
業務内容は、透析業務全般から内視鏡業務、ME機器（輸液ポンプ等の病院内の医療機器）管理業務、人工呼吸器業務、心臓カテーテル検査業務と多岐に渡っています。特に48床の透析室では48台の透析装置とその他の関連機器があり、保守管理（メンテナンス）をするのも結構な労力が必要です。また、ME機器を中央管理しており、その他の医療機器の管理にも努力しております。
あまり透析室以外では患者様とは接する機会が少ないですが、機器の保守管理に努力し、安心して診療が受けられるように努めていきたいと考えています。

ME機器のメンテナンスも重要な仕事です。
また、パートの私にとっては働きやすい職場だと思います…。



看護師と同様に透析患者様への穿刺や
血圧測定も行います。



子育て中の女性も活躍されています



News

菊池市 で開催

第46回熊本県医学検査学会

(熊本県臨床検査技師会主催)

今年6月8日(日)に、第46回熊本県医学検査学会が菊池市で開催されました。地元であるのは初めてのことで、当院臨床検査科 三牧司佳技師長が学会長を勤め、会場となった菊池市文化会館に約300名の方が参加されました。

この県学会は、全国学会等と比べると小さな規模ではありますが、日頃の検査業務で経験した珍しい症例や分析結果、あるいは各施設での取り組みなど、身近に起こりえる事例を取り上げた内容が多く、また発表する機会の少ない検査技師にとっても良い経験となる学会です。



【菊池女子高等学校 郷土芸能部の生徒さん】

学会前日の夜は菊池市内のホテルにて懇親会があり、三牧学会長より挨拶、そして熊本県臨床衛生検査技師会 瀧口会長の挨拶の後、菊池女子高等学校の郷土芸能部の生徒さんによる、長さ2m程ある槍を使った演舞「菊池千本槍」を披露して頂きました。菊池千本槍は、南北朝時代に活躍した菊池一族の戦いの様子を舞踏化したものです。



【発表する当院渡辺技師】

学会当日は、生理・化学・情報など8部門から合わせて22の演題が発表され、当院検査科からは渡辺技師による、「グリコアルブミン測定の基礎的検討～グリコアルブミンとHbA1cの比較～」と題し発表がありました。これは、血糖コントロールの指標として広く使われている2つの検査の基礎的検討に加え、ある特定の疾患と健常者の間にどれ程の差があるかを比較し、グリコアルブミンの有用性を示したものです。



【江頭市長】



【島添准教授】



【藤原教授】

午後からは学術奨励賞受賞記念講演、そして一般市民の方も参加しての特別講演がありました。講演に先立ち菊池市長江頭様から、豊かな自然と美人の湯として有名な菊池温泉をPRされ、医療費の問題そして医学の発展に期待をこめて歓迎の挨拶をいただきました。

引き続き、九州大学薬学研究院島添隆雄准教授による「健康、そして病気の治療について考えてみよう～東洋古典医学にみる共存の哲学～」と題しての学術講演、九州大学大学院芸術工学研究院環境・遺産デザインコース長藤原恵洋教授による「懐かしい未来を求めて～虫の目で感じる街角、鳥の目で知る世界遺産」と題しての文化講演がありました。

今回、地方での学会ということで少ないスタッフによる運営となり、約一年かけて準備をして参りました。これからも、私たち臨床検査技師が医療に貢献できるよう技術向上に努め、県学会から九州学会、更には全国学会へと発表を目指し、またこのような学会活動が今後も意義のある活動となるよう努力したいと思います。最後に学会運営に御尽力を頂きました執行部の皆様、また熊本市周辺地区の実行委員及び参加スタッフの皆様、本当にお疲れ様でした。



カ

ル

シ

ウ

ム

の

話

栄養科

日本人のカルシウム摂取状況は他国に比べてとても低いと言われてしています。カルシウムは意識して摂らないと、知らず知らず不足してしまいます。年齢を重ね小食になることや、腸管からの吸収率低下により、年と共に一層心がけて摂りたい栄養素です。

そこで今回は、カルシウム吸収率を高める栄養素とレシピをご紹介します。

吸収力を高める栄養素

ビタミンDは腸でのカルシウムの吸収を高める働きがあり、魚やキノコ類に多く含まれます。日光を浴びることで私たちの皮膚でも合成できますが、不足しないよう食事から十分量を摂るようにしましょう。



ビタミンD

骨の形成や骨質の維持に働いています。私たちの体では食品から摂取するビタミンKと、体内の腸内細菌や組織でつくられたビタミンKとの両方を利用しています。納豆や緑黄食野菜に多く含まれます。



ビタミンK

牛乳を使った
お手軽レシピ



キャベツのミルクスープ



■ 材料&分量(2人分)

キャベツ	2枚
玉ねぎ	1/8個
ウインナー	2本
しめじ	1/8袋
牛乳	300cc
バター	10g
コンソメ	小さじ1
塩、こしょう	少々

■ 作り方

- ① 鍋にバターを入れ、ウインナーと玉ねぎを炒める。
- ② 軽く火が通ったらキャベツとしめじを入れ、蓋をして5分ほど蒸し焼きにする。
- ③ 火が通ったら、牛乳を入れ弱火でコトコト煮る。最後に、コンソメと塩こしょうで味を整える。

新入職員紹介

Introduction of new staff

(8・9月付)



看護師
尾方 千美加

趣味・特技：旅行、読書

合志市から通っています。通勤距離が長いですが、一生懸命頑張りますのでよろしくお願いします。



臨床検査技師
東 珠里

趣味・特技：旅行

早く慣れるように頑張ります。よろしくお願ひします。



看護師
鷹木 有紀子

趣味・特技：ドライブ

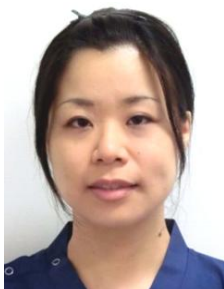
看護師として入職させて頂くことになりました。患者さまの思いを大切に看護ができるように頑張ります。どうぞよろしくお願いします。



准看護師
田嶋 麻美子

趣味・特技：旅行

9月から入職します田嶋です。1年ブランクがあるので少し不安ですが、頑張ります。



作業療法士
村本 結実

趣味・特技：ウクレレを弾くこと

昨年菊池に引っ越してきました。子育てとの両立頑張ります。



看護師
松浦 恵

趣味・特技：旅行

以前は泌尿器科、婦人科がメインの混同外科病棟に勤めていました。熊本県へは1ヵ月前に来たばかりで、仕事も1年ぶりなので心配な事も多いですが、先輩方と頑張っていきます。よろしくお願いします。

編集後記



今年の夏は雨の日が多く、先日(8月19日～20日にかけて)広島市を中心に局地的な豪雨となり、土砂崩れや土石流が発生し、多数の住宅がのみ込まれ多くの犠牲者が出ています。被災された皆様に心からお見舞い申し上げるとともに犠牲になられた御遺族の皆様に対し、深くお悔やみ申し上げます。被災地の一日も早い復興と生活再建を願うところです。

明るいニュースとしては、全国高等学校野球選手権(甲子園)大会で6年ぶり4度目の出場となる県代表の城北高等学校が19年ぶりの初戦突破を果たしました。

さて、当院においては、手術室運営委員会並びに同手術室運用小委員会が設置され、手術室の稼働に向け種々検討されているところです。今後、皆様に色々ご協力をお願いすることがあるかと思ひます。よろしくお願いいたします。

菊池郡市医師会立病院 外来診療表

	午前/午後	月	火	水	木	金	土
総合内科	午前		児島 協	児島 協	松田 浩治		松田 浩治
糖尿病センター 代謝内分泌科	午前	矢野 智彦 古賀 荒太郎	田口 哲也 矢野 智彦	田口 哲也		矢野 智彦 古賀 荒太郎	田口 哲也
循環器内科	午前	予約	石坂 浩	古賀 敏	石坂 浩	熊大病院	古賀 敏
		新患	古賀 敏	石坂 浩	古賀 敏	熊大病院	石坂 浩
腎臓内科	午前					緒方 智博	
消化器内科	午前			検査のみ	済生会 熊本病院		
	午後			検査のみ			
神経内科	午前			井上 泰輝			
放射線科 (CT・MRI)	午前/午後	本田 伸	本田 伸	本田 伸	本田 伸	本田 伸	熊大病院

外来受付時間：午前8時30分から午前11時30分

診療時間：午前9時から午後12時

※内科・代謝内科、循環器内科の普通診療は午前のみとなります。ただし、救急の場合はその限りではありません。

※検査は予約制となります。

【病院理念】

かかりつけ医の先生方と連携して、地域の皆さまに信頼され、愛される病院を目指します。

【基本方針】

- ・チーム医療と地域連携に努めます
- ・より良い医療の提供を目指し、研修・研鑽に努めます
- ・自己満足に陥ることなく、業務改善に努めます
- ・病院の健全な運営を目指します



一般社団法人 菊池郡市医師会

菊池郡市医師会立病院

〒861-1306 熊本県菊池市大琳寺75番地3

TEL:0968-25-2191 FAX:0968-24-5762 <http://www.kikuchi-hosp.com/>

発行責任者：病院長 矢野 智彦

